

湘南のカルチャー&ライフスタイル・マガジン

SHONAN TIME

6

2019 / Vol.07

湘南はもう夏です。



湘南 この夏の過ごし方 | 「湘南博」連動企画・湘南が生んだもの | 香港視覚 - 湘南

N 邸 N-café

逗子市小坪 6-6-46
Tel. 0467-95-8749

プールサイドのテラスや見晴らしのいい店内で味わえるのは、鹿児島産の食材や鎌倉野菜を使った美しい一皿。オーナーの住吉さんは、コンテンポラリーダンサーとしても活躍。完全予約制。営業日は <http://n-cafe.me> で確認を



レストランテ AO 逗子マリーナ
逗子市小坪 5-23-16 Tel. 0467- 25-0480

波風を感じながら味わうテラス席、海と空の青にマッチするブルーの店内、どちらも開放感たっぷり。ランチコース2800円から。黄ニンジンのポタージュ、バーニャカウダ、金目鯛のカルパッチョなど約5品目を盛り合わせたアンティパスタにテンションが上がる

と潮風で一層の爽快感。地産地消の野菜や魚を使った料理からは湘南の息吹を感じる。ヨット周遊と料理を一緒に楽しむプランなら、マリーナの優雅さも体感できてしまう。素晴らしい景観と料理を時間にかけて噛みしめるひととき。それは大切な人と大切な時を過ごすためにあるのだ、とあらためて思う。

逗子の小高い丘の上
別世界のような楽園へ。

湘 南の魅力は、高低差のある自然豊かな地形にもある。そんな土地の風情を生かした特別な場所を見つけた。それは週に数日だけオープンする「N邸 N-café」。逗子の小高い丘の上へ狭くて急な階段を上がっていくと、驚くほどの開けた美しい景観が待っている。いつもと違う角度から逗子マリーナと海を見下ろす。芝生の庭にはひょうたん形のプール。このロケーションでは大人も童心に帰って、はしゃいでしまいたいそう。

普段はテレビや雑誌などの撮影に使われるレンタルスペースだが、ちょっと気まぐれに(?)カフェとして開放される。予約して、プール際でこだわりの食材と鎌倉野菜を使った華やかな料理を。友人たちとBBQを楽しむのも乙だ。この小さな楽園にいと、空が青い、広い。風が気持ちいい。そんな当たり前のことが、自然と口からこぼれ出てしまう。



surfers

逗子市新宿 5-822-2 Tel. 046-870-3307

逗子海岸の岬にあるビーチハウス。バーガーやチキンなどのカジュアルフードがよく似合い、ライブやマリンスポーツも体験できる

MARINE&FARM

横須賀市佐島 3-8-35 Tel. 046-854-9820

三浦の野菜や魚介を存分に味わえるイタリアン。週末は行列ができるほど人気で、週末のみモーニングも楽しめる



Sunny Funny Days

葉山町一色 2378-3 Tel. 046-801-3282

葉山にあるビーチハウスは、デイクースでデッキスペースをレンタルでき、BBQやマリナクティビティの拠点としても活用できる

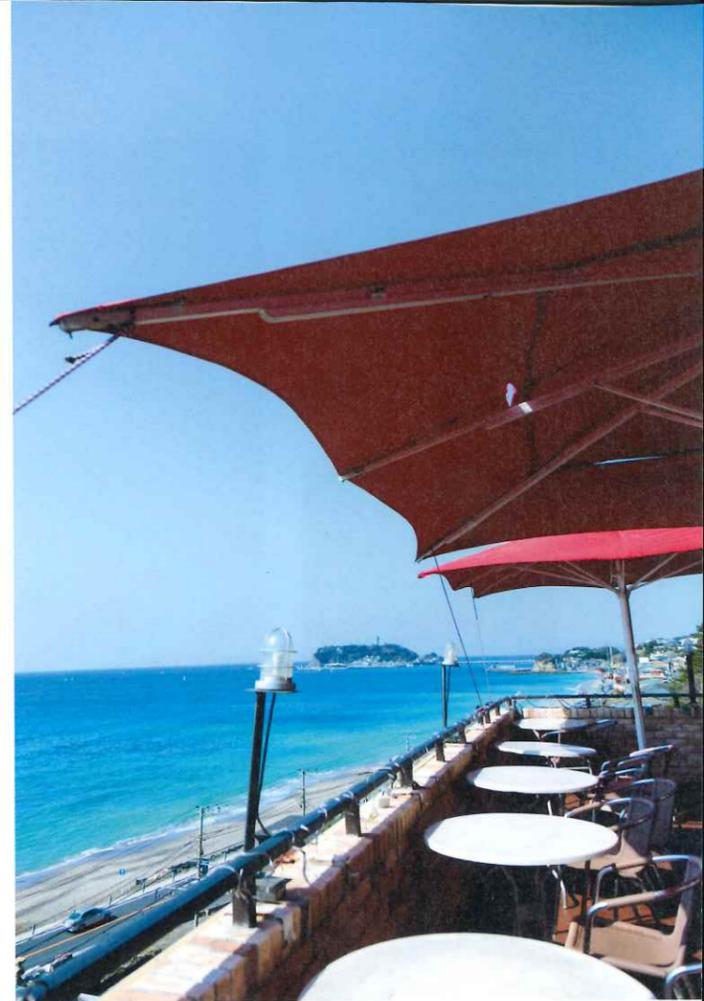


Ron Herman Cafe

逗子マリナー店

逗子市小坪 5-23-10 リビエラ逗子マリナー本館 1F
Tel. 0467-61-2280

ガラス張りの店内とウッドデッキのテラス席を備えた、光あふれるカフェ。旬の食材を使ったボリューム満点のメニューを楽しめる(テラス席はドリンクのみ)



Amalfi DELLASERA

鎌倉市七里ガ浜 1-5-10
Tel. 0467-32-2001



七里ヶ浜にある絶景イタリアン。香ばしい石窯ピッツアが人気で、イチオシは釜揚げシラスと長ネギやアンチョビ、ブロッコリーなどをトッピングした「ピッツァ 七里ガ浜」1490円

潮風が吹くテラスで
おいしい、楽しい時間

リゾート時間を過ごす場所は、まだまだある。特に、テラス席をメインとしたこんなレストランやビーチハウスなら、開放感の上位。

その王道といえば、七里ヶ浜にある「Amalfi DELLASERA」だろう。高台にはためく赤いパラソルに誘われて急な石段を上がると、天空のオーブンテラス。そこはもう、地中海のアマルフィイ海岸にあるレストランそのもの。江の島や富士山の雄姿も望める。潮風に当たって、湘南食材の石窯ピッツアと、魚介もりのサラダで乾杯。潮風も、魚介の塩加減もいい具合で、ついワインが進んでしまう。

リビエラ逗子マリナーにはオーシャンビューをカジュアルに楽しむ「Ron Herman Cafe」もある。カリフォルニアテイストの料理も空間もロンハーマンらしいしやれ感。テラスのソファに体を預けて、友人や家族、愛犬と戯れる。時折、マリナーにはヨットが戻ってくる。その光景を見ながら、遠くのリゾートへの旅を夢見るのもいい。

ときには、湘南のなかでも独特の静けさがある漁港町・佐島まで足を延ばしたい。その海辺にあるのは大型客船のような佇まいの「MARINE & FARM」。人気の秘訣は食の宝庫「三浦の野菜や魚介を余すことなく味わえ

ること。何種類もの新鮮野菜を使ったサラダや、魚介と野菜の窯焼きピッツア。サンセットタイム、船上デッキみtainなテラスで、オレンジ色に染まりゆく海と富士山を眺める。なんともドラマチックな風景にきつと、酔いしれてしまう。

最後はとっておきのビーチハウスをふたつ。まずは逗子海岸の岬にある「surfers」。ヤシの木やビーチパラソルが空に映え、一年中、真夏の海の家を訪れたような開放感とワクワク感。白いチェアに座って飲むビールは格別で、バーガー&チップスなどのカジュアルフードにもよく合う。週末の夜などには音楽ライブも開かれ、波音とともに五感を揺さぶられる。

大人のための新しい遊び方を提案するのは、葉山の三ヶ下海岸前にある「Sunny Funny Days」。デイクースでデッキスペースを借りて、葉山に暮らすようにプライベートな時間が持てる稀有な存在だ。サマーベッドに横たわって海を眺め、友人たちとBBQ。マリナクティビティの拠点として、葉山の美しい海中をシュノーケリングしたり、SUPで海上を散歩したり、デッキでのヨガタイム(教室あり)も最高。湘南の海辺にいて、この心地いい空間が自分のためだけにあるような錯覚に陥る。鼓動はゆっくり、気分はうっとり。あら、気づけば足元はビーチサン。このゆるい幸福感には、いつまでも没りに来たくなる魔法がある。